

# ショットブラスト2機種更新 組合に加入し、グレード取得へ

## ジェイエフ総業(新潟)

新潟県のジェイエフ総業(柏崎市、和田雄社長)は、4月から新潟県鉄骨工業組合に加入し、グレード取得をめざすとともに、生産性と品質向上を図るため、H形鋼およびプレ

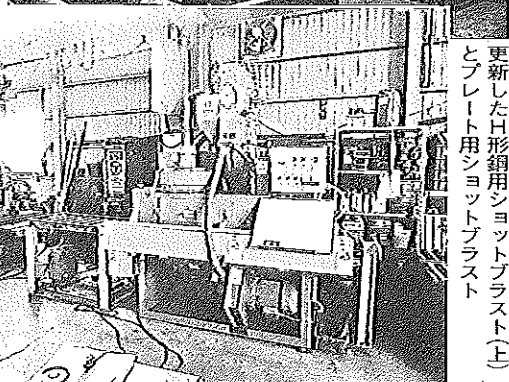
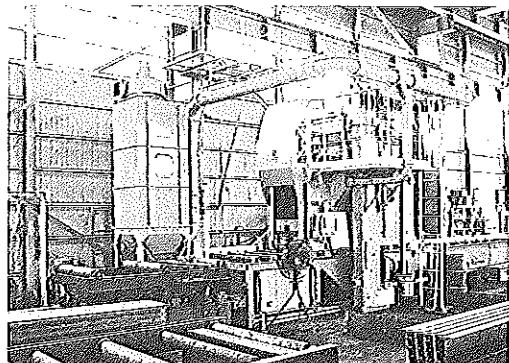
キャスト用ショットブラストを更新した。同社は梁加工に特化した、孔あけ・補強・溶接までの加工全般、住金システム建築の加工を手がけるファブリケーターで、事業停止した古沢工業の事業の一部を事業継承して02年に創業し、05年に法人化。08年に経営

革新新事業の融資で新工場を建設、稼働。現在、社員13名で年間約5000本の

加工能力を誇る。昨年の夏以降の需要回復

も強くなってきたことから、まずはRグレード取得をめ

ざして組合に加入、社員の資格取得も開始した。今回更新したショットブラストは、新東工業製のH形用「KACX-II」と、プレート用「KVCX-II」の2機種。これにより生産性と品質の向上を図ることができるといふ。



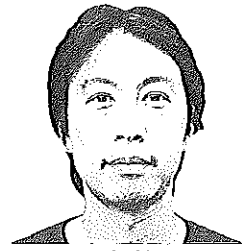
更新したH形鋼用ショットブラスト(上)とプレート用ショットブラスト

により、新潟県と長野県のS、Hグレードファブは相当量の山積みを抱えていることから、今後の仕事量が増加すると見込み、設備投資を決断。システム建築の受注も順調で、柱加工も増加しており、品質面での担保の要求も強くなってきたことから、まずはRグレード取得をめ

田中工業(新潟)

# バンドソーマシンを導入

## 製作物の内製化率の向上を図る



田中社長

新潟県の田中工業(柏崎市、田中慎一社長)は、13年度補正による中小企業庁のものづくり中小企業支援補助金制度に申請した「鋼

鉄工専務)に加入した。同社は、田中社長がアフリカ諸国やインドネシアな

鋼構造製作・施工を行う会社として09年に創業。10年に法人化した。現在、県

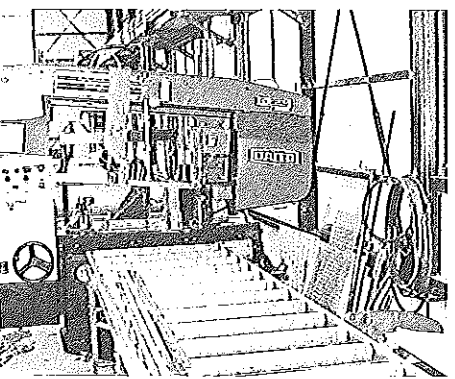
内ファブの耐震補強工事や建方合番などを請け負うと

傾斜で定評の形鋼バンドソ

の資格取得を進めている。

構造物施工の工期短縮化を目的とした製品内製化システムの開発」が採択され、大東精機製のバンドソーマシン「STII-4565」を導入した。さらに、10月

から新潟県鉄骨工業組合(理事長II渡邊孝夫・渡辺鉄工専務)に加入した。耐震補強工事を中心とした鋼構造製作・施工を行う



導入したバンドソーマシン

ど、海外工事での建方を製作工場に代わって現地で打ち合わせを行い、現場作業がスムーズに進むよう調整する施工監理(建方合番)に携わった経験を生かし、建方合番や現場鍛冶工事、耐震補強工事を中心とした鋼構造製作・施工を行う

ともに、港湾施設などの水中構造物の金物製作も手がける。11年に刈羽工場を建設し、鋼構造物の製作を本格的に開始。受注の増加に伴い、生産効率の向上を図るために新設備の導入を決断、補助金制度に申請した。導入した「STII-4565」は、II 4565は、得をめぐらし、審査に向けた品質管理体制の構築や社員の資格取得を進めている。